

達成項目	最低限	努力目標	到達目標	至高	重要度
① 統合開発環境の基本操作	Windowsの基本操作を実行でき、統合開発環境「Visual Studio」を起動することができる。	配付資料の手順を参考にして、Visual Studioの新規プロジェクトを作成できる。	配付資料の手順を参考にして、ソースファイルの追加や新規ソースファイルの置き換えやビルドできる。	C～Aまでの操作を、配付資料に頼らず、自力で行うことができる。	10%
② ソースコードの記述と実行	配付資料の例文プログラムを読み、その意味を理解できる。	配付資料の例文プログラムと同程度の、基本的なソースコードを自力で記述できる。	配付資料の例題に対するソースコードを、自力で記述できる。	フローチャートの図の意味が理解でき、また、ソースコードの記述ミスや文法の誤りを自らエラーメッセージを元に解決できる。	20%
③ 変数・配列	変数や配列の型宣言の仕方がわかる。	値の代入や、printf文でのフォーマット指定子の活用ができる。	反復などの他の制御構文と組み合わせて使用できる。	ポインタを使用して、値の代入や参照ができる。	20%
④ 反復	配布資料を見ながら、for文やwhile文などの構文の意味が理解できる。	自力で、構文を記述することができる。	特殊な反復(任意の数ずつ増加・減少など)に対しても、構文を活用できる。	do-while文や無限反復の活用、また反復構文をネストにして活用できる。	20%
⑤ 条件による分岐	配布資料を見ながら、if文やswitch文などの構文の意味が理解できる。	if文の他、else文、else-if文も活用できる。	関係演算子を活用し、2つの値を比較する条件文を作成できる。	論理演算子を活用し、2つ以上の条件文から真偽を判定することができる。	20%
⑥ 関数	配布資料を見ながら、自作関数をmain()関数から呼び出すソースコードの内容を理解できる。	自作関数に引数を渡し、返ってくる戻り値を活用できる。	グローバル変数やローカル変数、コマンドラインからのmain()関数への引数の渡し方を知っている。	ポインタを利用して、自作関数側から、main()関数内の変数や配列の値を参照・変更できる。	10%